Go Too! Group、参加型スポーツフェス
「Aichi Go Too! Sports Fes.」を初開催
ショッピングモール全域で、“観る・体験する・交流する”2日間

～愛知初のFIBA 3x3国際大会から全14種の体験まで、スポーツ・文化・食が集結～





当日の様子はこちらから：https://youtu.be/mTYAotHRWk4

当日の様子

愛知県を拠点に、モビリティを起点としたスポーツ・文化・食で地域の暮らしを彩るGo Too Group株式会社（旧Gホールディングス、本社：愛知県、代表取締役社長：後藤 善午、以下当社）は、2026年10月10日（土）・11日（日）の2日間、三井ショッピングパーク ららぽーと名古屋みなとアクルスにて、スポーツを軸にした地域共創型フェスティバル「Aichi Go Too! Sports Fes.」を初開催しました。

本フェスは、スポーツを“観る”だけでなく、“体験する”“交流する”“地域を回遊する”場として、ショッピングモール全域を舞台に企画したものです。愛知県で初開催となる国際大会「FIBA 3x3 Go Too! Group Aichi Challenger 2026」には世界12か国から16チームが出場し、Liman（セルビア）が初代王者に輝きました。同じコートでは、3x3車いすバスケットボールのエキシビションマッチも実施しました。

モール全域では、世界王者らによるパフォーマンス、全14種の体験コンテンツ、パデルのアジア大会金メダリストによるトークショー、トヨタの次世代モビリティe-Paletteを使った日本酒ラウンジなど、スポーツ・文化・食を横断するコンテンツを展開し、2日間にわたり子どもからシニアまで多くの方にお楽しみいただきました。なお、開催期間中の2日間で、会場となったららぽーと名古屋みなとアクルスには延べ約8.8万人が来館しました。

観る｜世界トップレベルの戦いを、すぐそばで

メイン会場のデカゴンでは、愛知県初開催となる国際大会「FIBA 3x3 Go Too! Group Aichi Challenger 2026」を実施しました。世界最高峰のプロサーキット「FIBA 3x3 World Tour」への出場権をかけ、世界12か国から16チームが出場。大会の開幕には、「あいち音楽大使」のHIP HOPグループ「nobodyknows+」がスペシャルライブを披露し、会場を盛り上げました。

1試合10分・21点先取というスピーディーな展開に、700席を超える観客席は大いに沸きました。決勝では、Liman（セルビア）がShanghai（中国）を下し、愛知で初めての王者に輝きました。

大会の締めくくりには、愛知県を中心に幅広く活躍するアーティスト「SEAMO」がフィナーレでスペシャルパフォーマンスを披露しました。











【大会結果】

優勝：Liman（セルビア）　準優勝：Shanghai（中国）　3位：Shibuya（日本）

MVP：ネマニャ・ジゴン（Nemanja Zigon）選手/リマン（セルビア）

出場：世界12か国・16チーム

※全試合結果はFIBA公式サイト（https://worldtour.fiba3x3.com/2026/challengers/aichi ）をご覧ください。

3x3車いすバスケットボール・エキシビションマッチ

11日（日）には、IWBF（国際車いすバスケットボール連盟）主催の3x3車いすバスケットボール・エキシビションマッチを実施しました。IWBFが3x3車いすバスケットボールの理念の一つに掲げるのは、「競技を広く人目に触れる場所で展開し、『車いすスポーツはエンターテインメントである』という驚きを届けること」。その言葉どおり、買い物客が行き交うショッピングモールで、日本、タイ、韓国、フィリピンの4か国がトップレベルの熱戦を繰り広げました。



体験する｜モール全域が、誰もが挑戦できるフィールドに

モール内の各エリアでは、全14種の体験コンテンツとステージパフォーマンスを展開しました。世界大会での優勝経験を多数持つブレイキンクルー「MORTAL COMBAT」のブレイキンや、シルク・ドゥ・ソレイユ出演経験者を擁するプロダブルダッチチーム「NEWTRAD」のダブルダッチのショーでは、大技が決まるたびに歓声が上がり、ショー直後の体験会には、演技に見入っていた子どもたちが列をつくりました。センターコートエリアでは2026年の国際大会を制した「$HU」らによるフリースタイルバスケットボール、ウェルカムアプローチエリアではプロフリースタイルフットボーラー「まぢり」「うづら」によるショーと体験会も行われました。







第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）で正式競技として初めて実施された「パデル」の体験コートに加え、11日（日）には同大会で金メダルを獲得した徳本佳恵・塚本早紀ペアによるトークショーを実施し、競技の魅力や大会の舞台裏を語りました。

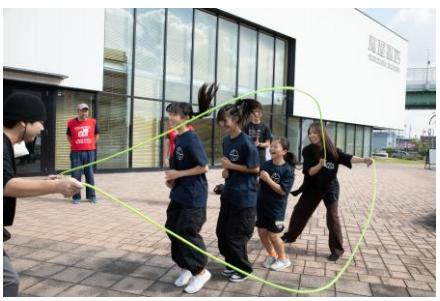
※当社は日本パデル協会と連携し、「パデルを通じた地域共創プロジェクト」を推進しています。





ほかにも、障害物コートで1対1の真剣勝負を楽しむ「パルクール鬼ごっこ（パルオニ）」やGKなしの3対3で戦う「3x3FOOTBALL」、愛知東邦大学と連携し、垂直跳びや握力、体組成などを測る「スポーツ能力測定」などに、多くの方が挑戦しました。センターコートエリアの「パラスポーツ・インクルーシブゾーン」では、車いすバスケやボッチャ、目隠し玉入れなどを実施し、障がいの有無や世代を超えて、同じコートで声を掛け合う姿が見られました。







交流する・巡る｜スポーツ・文化・食がつながる場に

デカゴン横では、萬乗醸造との共創プロジェクトの一環として「e-Palette meet 醸し人九平次」を展開。トヨタの次世代モビリティ「e-Palette」を「醸し人九平次」のラウンジとして活用し、Go Too! Groupと萬乗醸造が手がけたオリジナルの「醸し人九平次」をはじめとする日本酒を、モビリティが生み出す特別な空間で楽しめる場となりました。あわせて、「スポーツ」や「食」をテーマにした7つのコンテンツも展開しました。

会場内5エリアを巡る公式LINE「Go Too! Fun」連動型スタンプラリーでは、各エリアを回遊しながら、複数の体験を楽しむ来場者の姿が見られました。

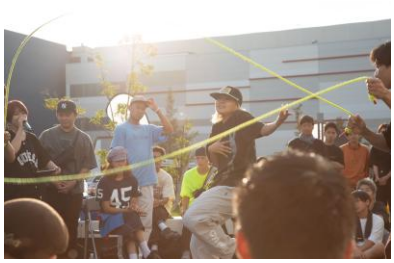





“まちをカラフルに”する、民間主導の地域共創。その第一歩として

当社は2026年7月、社名を「Go Too! Group」に改め、モビリティを起点にスポーツ・文化・食へと事業を広げています。本フェスは、新たなグループビジョン「ワクワクで、まちをカラフルに。」をスポーツの文脈で形にした取り組みであり、商業施設・行政・企業・教育機関・国際競技団体が連携する「民間主導の地域共創」の第一歩です。

当社は今後も、スポーツ・文化・食を通じた地域共創に継続して取り組んでまいります。その一環として本フェスも年1回の定期開催を予定し、愛知を代表する都市型エンターテインメントフェスへと育ててまいります。











コメント　優勝チーム　Liman(セルビア) Dušan Popović(ドゥシャン・ポポヴィッチ)選手



FIBA 3x3 GO TOO AICHI CHALLENGERは、素晴らしい大会でした。大会会場をはじめ、運営に携わった関係者の皆様、選手をサポートしてくださったスタッフの皆様、そして熱い声援を送ってくださったファンの皆様など、すべてにおいて素晴らしい環境を整えていただきました。また、2日間にわたる学校訪問を通じて、子どもたちと交流できたことも非常に貴重な経験となりました。温かく迎えてくださった皆様に心から感謝しています。私たちも、子どもたちにとって楽しく、思い出に残る時間となるよう、一緒にバスケットボールを楽しみながら交流を深めることができました。

今回の大会に関わってくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。また来年、皆様とお会いできることを楽しみにしています！

コメント　IWBF 事務総長 ガブリエル・ツァンゲンファイント氏



Go Too Group株式会社、日本生命保険相互会社、そしてFIBA 3x3のすべての関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。3x3車いすバスケットボールの理念の一つは、競技を広く人目に触れる場所で展開し、「車いすスポーツはエンターテインメントである」という驚きを届けることです。買い物に訪れた方々が足を止め、選手たちのプレーに歓声を上げてくださった光景は、まさに私たちが目指す姿でした。アジアパラ競技大会を目前に控えたこの時期に、多くの方に車いすバスケットボールの魅力を知っていただけたことを嬉しく思います。

コメント　常務取締役　後藤善人



2日間、会場に足を運んでくださった多くの皆様に、心より御礼申し上げます。世界のトップ選手のプレーに歓声を上げる方、初めての競技に夢中で挑戦する子どもたち、車いすに乗って一緒にボールを追いかけるご家族。会場のあちこちで、年齢や障がいの有無を超えて、誰もが一歩を踏み出す姿が見られたことを、大変うれしく思います。

当社は1965年の創業以来、クルマを通じて愛知の皆様の暮らしに寄り添ってまいりました。社名を「Go Too! Group」に改めた今、私たちが目指すのは、クルマの先にある“ワクワク”を地域の皆様とともにつくることです。本フェスで生まれたつながりを大切に、「走り出す人を応援する」というミッションのもと、スポーツ・文化・食を通じて、愛知のまちをもっとカラフルにしてまいります。

開催概要

イベント名称　:Aichi Go Too! Sports Fes.
開催日時　:2026年10月10日(土)・11日(日)
会場来館者数　:延べ約8.8万人(開催期間2日間・施設調べ)
主催　:【Aichi Go Too! Sports Fes.】
Go Too Group株式会社、トヨタカローラ名古屋株式会社、トヨタカローラ愛知株式会社、ネッツトヨタ中部株式会社、トヨタGo Tooサービス株式会社、アイナレンタリース株式会社、株式会社モーセ
【FIBA 3x3 Go Too! Group Aichi Challenger 2026】
FIBA(国際バスケットボール連盟)
【車いすバスケットボール エキシビションマッチ】
IWBF(国際車いすバスケットボール連盟)
協力　:株式会社トリデンテ
会場　:三井ショッピングパーク ららぽーと名古屋みなとアクルス
(愛知県名古屋市港区港明2丁目3番2号)
協賛　:日本生命保険相互会社
後援　:愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
一般社団法人名古屋スポーツコミッション
WEBサイト　:https://go-too-sportsfes.com

会社概要

商号　:Go Too Group株式会社
住所　:〒460-0017 名古屋市中区松原1丁目6番2号
代表取締役社長　:後藤 善午
設立　: 1965年7月　後藤本社株式会社として設立
2017年9月　Gホールディングス株式会社に商号変更
2026年7月　Go Too Group株式会社に商号変更
事業内容　:愛知県のトヨタ自動車販売会社などを傘下に持つホールディングカンパニー
グループ会社　:トヨタカローラ名古屋株式会社、トヨタカローラ愛知株式会社、ネッツトヨタ中部株式会社、トヨタGo Tooサービス株式会社、アイナレンタリース株式会社、株式会社モーセ
WEBサイト　:https://go-too-group.jp/

Go Too! Group 公式コンテンツ
ブランドムービー　公式LINE